

区分・種別	登録有形文化財（建造物）		
名称	きゅうたかはしけじゅうたく 旧高橋家住宅		
所在地	内子町内子		
所有者	内子町	管理団体	
登録年月日	令和6年3月6日		
解説	<p>旧高橋家住宅は内子町重伝建地区と小田川の間に所在する住宅で、日本におけるビール醸造のパイオニアである高橋龍太郎の生家として著名である。</p> <p>主屋は木造つし2階建て棧瓦葺入母屋造で、昭和・平成に大規模な改修が為されているが、和釘の使用などから創建は江戸時代末期と推定できる。離れは木造2階建て棧瓦葺入母屋造で、昭和3年(1928)頃の建築とされる。玄関のガラス欄間の使用や廊下の発達、2階の客間化など、昭和初期の住宅の特徴が随所に見受けられる。</p> <p>表門は一間一戸、棧瓦葺切妻造の棟門で、昭和26年(1951)頃に建てられたとされる。両袖に屋根付きの塀を設け、風格ある屋敷の表構えを伝える。石垣は野面積み、土塀は棧瓦葺の築地塀で、江戸時代後期の造成とされる。石垣は反りを持ち、隅を算木積みとし玉石を丁寧に積み上げる。井戸は梓石に「丁文政十亥春三月」との刻銘から、文政10年(1827)の建造と分かる。井戸は生活に欠かせない設備であり、高橋家住宅の生活の一部を知るうえで貴重である。</p>		

